

飛鳥宮跡の活用に向けて

飛鳥宮跡の特徴

- 古代国家創生の地であり、詳細な構造が判明した最古の宮跡である。
- 良好な景観の中で、複数の宮跡が重層的に保存されている。
- 史料の記述と実際の遺構によって検証することが期待できる。

●明日香における歴史展示等のあり方基本指針(平成22年3月奈良県策定)

飛鳥地域には、「歴史物の展示」はあっても「歴史の展示」は少ない。「歴史の展示」を充実することで、来訪者に感動を与えたい。
3つのテーマ設定

国家の成立

仏教の伝来と興隆

東アジア文化の受容と変容

●明日香における歴史展示実施計画(平成23年3月奈良県策定)

「基本指針」に基づき、来訪者にわかってほしい明日香の歴史を「歴史ストーリー」として作成。
歴史上の人物を語り部として、基本指針の三つのテーマに基づくストーリーを作成。

どのように保存するか

- 史跡の本質的価値を構成する要素と、それと密接にかかわる要素の保存
- 保存のための調査研究と整備の精度の向上
- 整備手法
- 景観の保全、再生

どのように活用するか

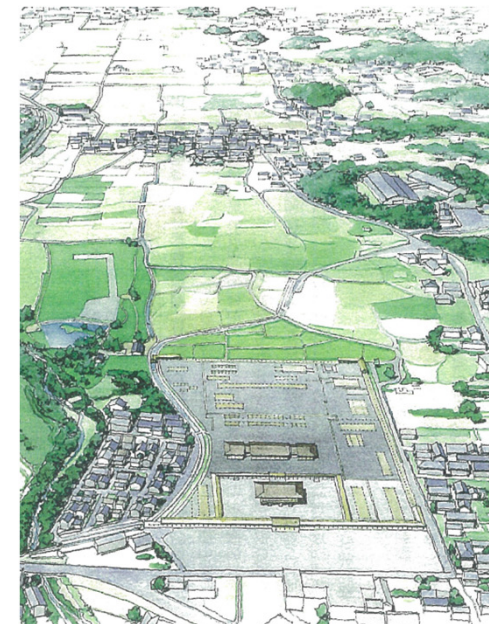
- 活用を前提とした整備
- 公開、活用、管理の方法 (世界遺産登録への視座)
- 史跡等の価値を学び理解する場の提供
- 活かした復元



遺構展示(平城宮跡)



平面表示(山田寺跡)



飛鳥宮跡整備イメージ(第II段階)

出典: 飛鳥宮跡保存活用構想検討報告書



復元表示
(吉野ヶ里遺跡 倉庫群 佐賀県)



1/10全体模型
(いつきのみや歴史体験館 三重県)

